

東京女子医科大学病院内科専門研修プログラム説明会
2021年7月10日 14:00～15:30



第二部: 現役内科専攻医を 交えた座談会・質疑応答

東京女子医科大学病院
内科専門研修プログラム説明会



当院の内科専門医プログラムの
実際
～内科専攻医の立場から～

現役後期研修医のプレゼンテーション



腎臓内科 専攻医

新内科専門医制度 腎臓内科 Sr.4

- ・他科ローテートは**思ったよりずっと良い**
- ・新専門医制度卒業生が出た現在、**心配はしなくて良い**

1年目ローテート

4月-7月 腎臓内科	循環器	膠原病	救急	血液内科	神経内科	内分泌
---------------	-----	-----	----	------	------	-----

3年目4月～
病歴要約開始

2年目4月～
後期研修症例登録開始

1年目9月 症例登録開始
初期研修 症例31例

※2年目終了時
症例登録数 150 病歴要約 0

180症例

1年目



2年目

出向先病院

3年目



消化器内科 専攻医

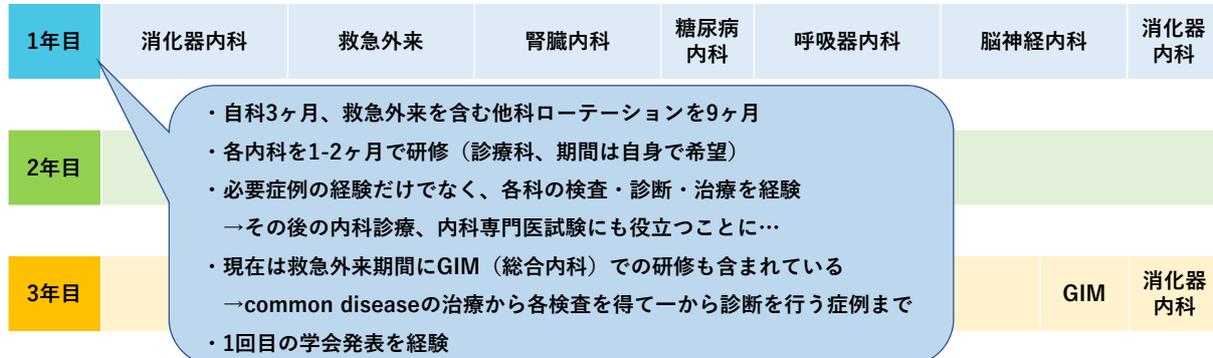
専攻医研修の流れと経験症例

1年目	消化器内科	救急外来	腎臓内科	糖尿病内科	呼吸器内科	脳神経内科	消化器内科
2年目	関連病院						
3年目	消化器内科					GIM	消化器内科

J-OSLER登録症例

総合内科	14	血液	7	症例数：163/200 (初期研修：23 専攻医研修：140)
消化器	40	神経	14	
循環器	14	アレルギー	2	疾患群数：70/70
代謝・内分泌	16	膠原病	5	
腎臓	9	感染症	8	
呼吸器	14	救急	20	

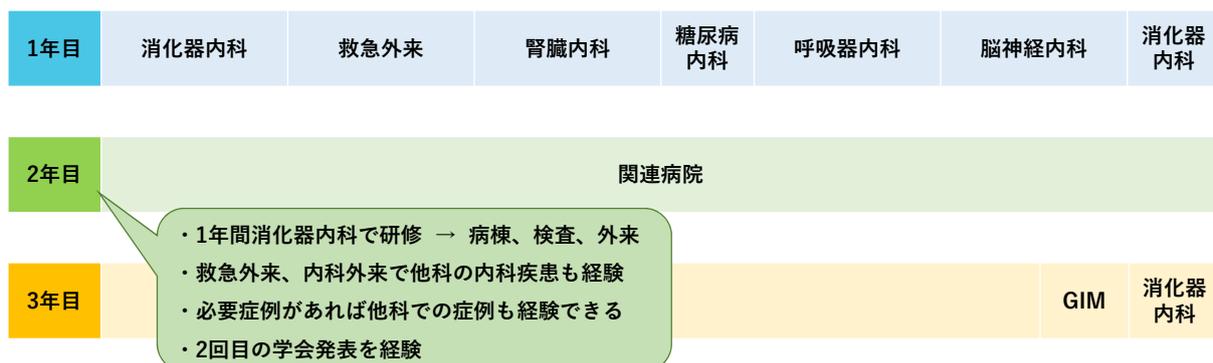
専攻医研修の流れと経験症例



J-OSLER登録症例

総合内科	14	血液	7	症例数：163/200 (初期研修：23 専攻医研修：140)
消化器	40	神経	14	
循環器	14	アレルギー	2	疾患群数：70/70
代謝・内分泌	16	膠原病	5	
腎臓	9	感染症	8	
呼吸器	14	救急	20	

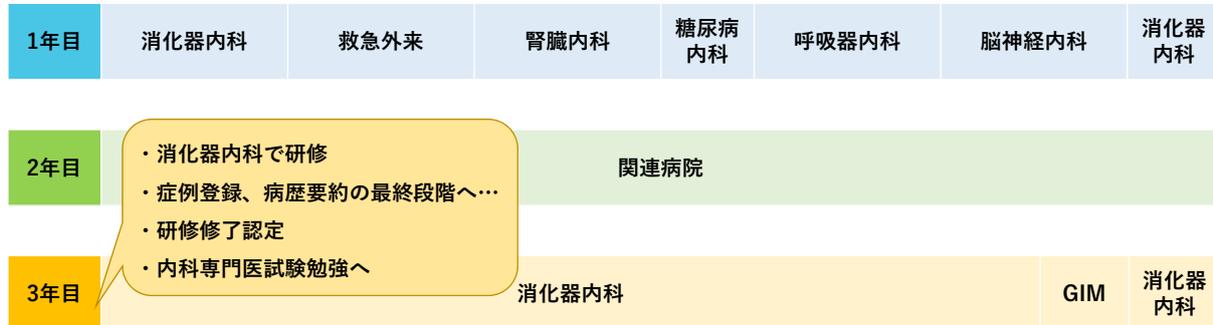
専攻医研修の流れと経験症例



J-OSLER登録症例

総合内科	14	血液	7	症例数：163/200 (初期研修：23 専攻医研修：140)
消化器	40	神経	14	
循環器	14	アレルギー	2	疾患群数：70/70
代謝・内分泌	16	膠原病	5	
腎臓	9	感染症	8	
呼吸器	14	救急	20	

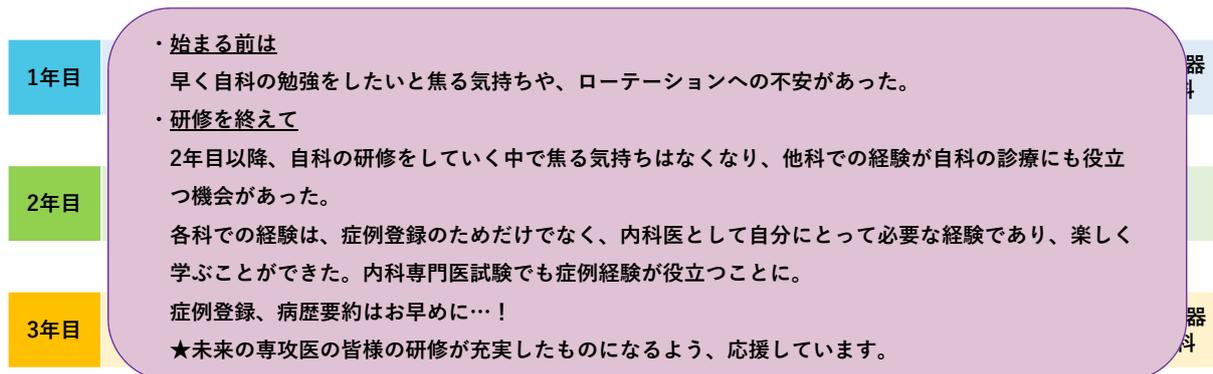
専攻医研修の流れと経験症例



J-OSLER登録症例

総合内科	14	血液	7	症例数：163/200 (初期研修：23 専攻医研修：140)
消化器	40	神経	14	
循環器	14	アレルギー	2	疾患群数：70/70
代謝・内分泌	16	膠原病	5	
腎臓	9	感染症	8	
呼吸器	14	救急	20	

専攻医研修の流れと経験症例



J-OSLER登録症例

総合内科	14	血液	7	症例数：163/200 (初期研修：23 専攻医研修：140)
消化器	40	神経	14	
循環器	14	アレルギー	2	疾患群数：70/70
代謝・内分泌	16	膠原病	5	
腎臓	9	感染症	8	
呼吸器	14	救急	20	



高血圧・内分泌内科 専攻医

<初期研修・後期研修でローテートした科>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	高血圧・内分泌内科						呼吸器内科			消化器内科		
2年目					糖尿病内科		腎臓内科	循環器内科				
3年目	高血圧・内分泌内科	循環器内科	高血圧・内分泌内科	脳神経内科			救急外来		高血圧・内分泌内科			
4年目	出向(糖尿病内分泌内科)											
5年目	高血圧・内分泌内科											

内容	後期研修3年修了時 研修完了症例数	後期研修3年修了時 研修完了症例数	研修要約提出数
総合内科(一般)	1	1 ^{※2}	2
総合内科(循環器)	1	1 ^{※2}	
消化器	9	5以上 ^{※2}	3 ^{※1}
循環器	10	5以上 ^{※2}	3
内命途	4	2以上 ^{※2}	3 ^{※1}
代謝	5	3以上 ^{※2}	
腎臓	2	4以上 ^{※2}	2
呼吸器	8	4以上 ^{※2}	3
血液	3	2以上 ^{※2}	2
神経	9	5以上 ^{※2}	2
アンギオ	2	1以上 ^{※2}	1
膠原病	2	1以上 ^{※2}	1
感染症	4	2以上 ^{※2}	2
救急	4	4 ^{※2}	2
外科紹介症例			2
研修要約			1
合計 ^{※5}	70 疾患群	56 疾患群 (任東源院数付)	29 症例 (出来は最大7) ^{※1}
症例数 ^{※5}	200 以上 (出来は最大20)	160 以上 (出来は最大10)	

- 初期研修の終了時点で、症例が足りないのは、神経のみでした。
- 後期研修は、脳神経内科2ヶ月と循環器内科1ヶ月をローテートしました。
→循環器を2回研修したのは、研修修了には各科の最低必要疾患群41+15の計56疾患群が必要であり循環器は疾患群数が多かったためです。
- 3年目までで、必要な症例は集まり、残りは自科で研修を行いました。
- 左の表の○は主に後期研修の症例を使用した科です。
- 研修開始前は、必要症例数が多く感じましたが、問題なく集まりました。

<内科専門医試験について>

問題集



● Quick Check



● QB vol.1-2



● THE内科1-2

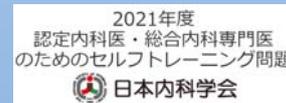


過去問題集



● セルフトレーニング問題集1-4

講座など



- 6年目の夏に内科専門医試験があります。思いつく限りで、上記の様な問題集と講座があります。
- 3月頃から勉強を始め、QBのvol.2、THE内科専門医問題集1-2、セルフトレーニング問題集4、苦手科目のQuickCheckを少し解きました。また、直前には、セルフトレーニング問題を解いて各科の同期に答えを聞いていました。時間がなくて出来なかった問題集もあるので、勉強はもう少し早く始めた方が余裕が出来ていいと思います。
- Twitterなどでどの様な問題が出題されたか記録している人がいます。興味がある方は探してみてください。